

## II 電子マネーの保有・利用状況

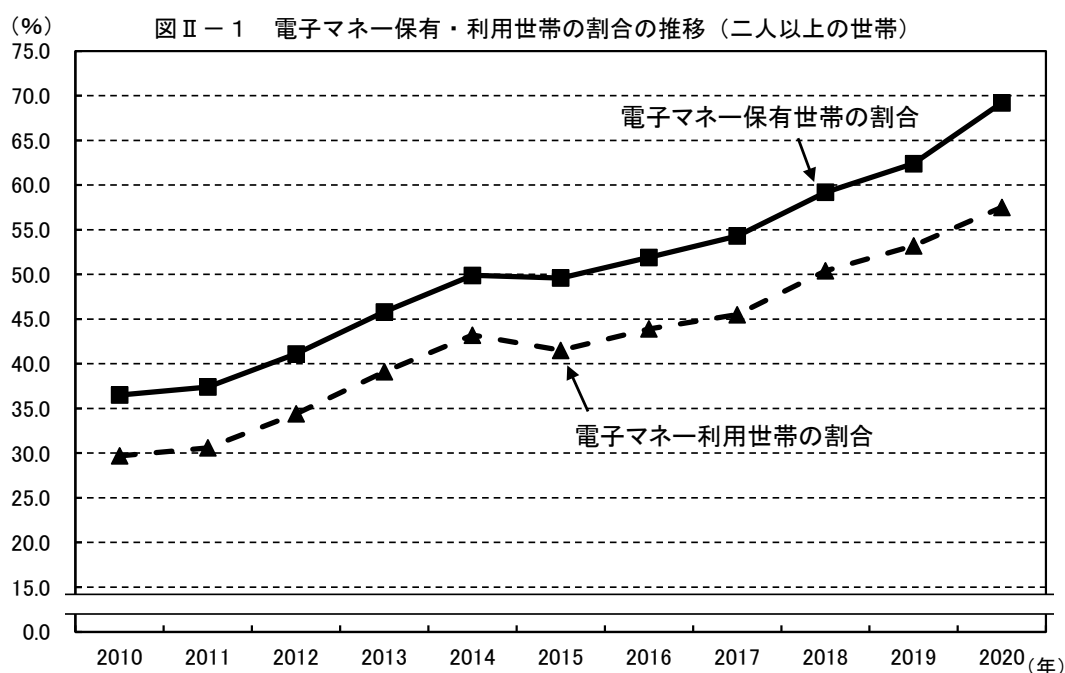
### 1 電子マネー利用<sup>※2</sup>世帯の割合は前年に比べ4.3ポイントの上昇

2020年の二人以上の世帯における電子マネーを保有している世帯員がいる世帯（以下「電子マネー保有世帯」という。）の割合は69.2%となり、前年に比べ6.8ポイントの上昇と前年（3.2ポイント）よりも大幅な上昇となった。2019年10月からの消費税率の引上げに伴うキャッシュレス・ポイント還元事業がキャッシュレス決済の普及を後押ししたことなどが影響したと考えられる。

また、電子マネーを利用した世帯員がいる世帯（以下「電子マネー利用世帯」という。）の割合は57.5%と、前年に比べ4.3ポイントの上昇となった（表Ⅱ－1，図Ⅱ－1）。

表Ⅱ－1 電子マネー保有・利用世帯の割合の推移（二人以上の世帯）

年次	電子マネー 保有世帯	電子マネー 利用世帯
割合(%)		
2010年	36.5	29.7
2011	37.4	30.6
2012	41.1	34.4
2013	45.8	39.1
2014	49.9	43.2
2015	49.6	41.5
2016	51.9	43.9
2017	54.3	45.5
2018	59.2	50.4
2019	62.4	53.2
2020	69.2	57.5



※2 この調査での「電子マネーの利用」とは、事前に現金と引換えに金銭的価値が発行されたICカードやプリペイドカード等（次の例を参照）の利用をいう。

例) Suica, ICOCA, PASMO, nanaco, WAON, 楽天Edy, WebMoney, BitCash, クオカードなど  
 なお、デビットカードの利用や、クレジットカードのような後払い方式の決済サービスの利用は含まない。  
 また、図書カードのように特定の商品・サービスしか購入できないプリペイドカード等の利用も含まない。

## 2 電子マネー利用世帯の割合は、世帯主が40歳代及び50歳代の世帯で7割を超える

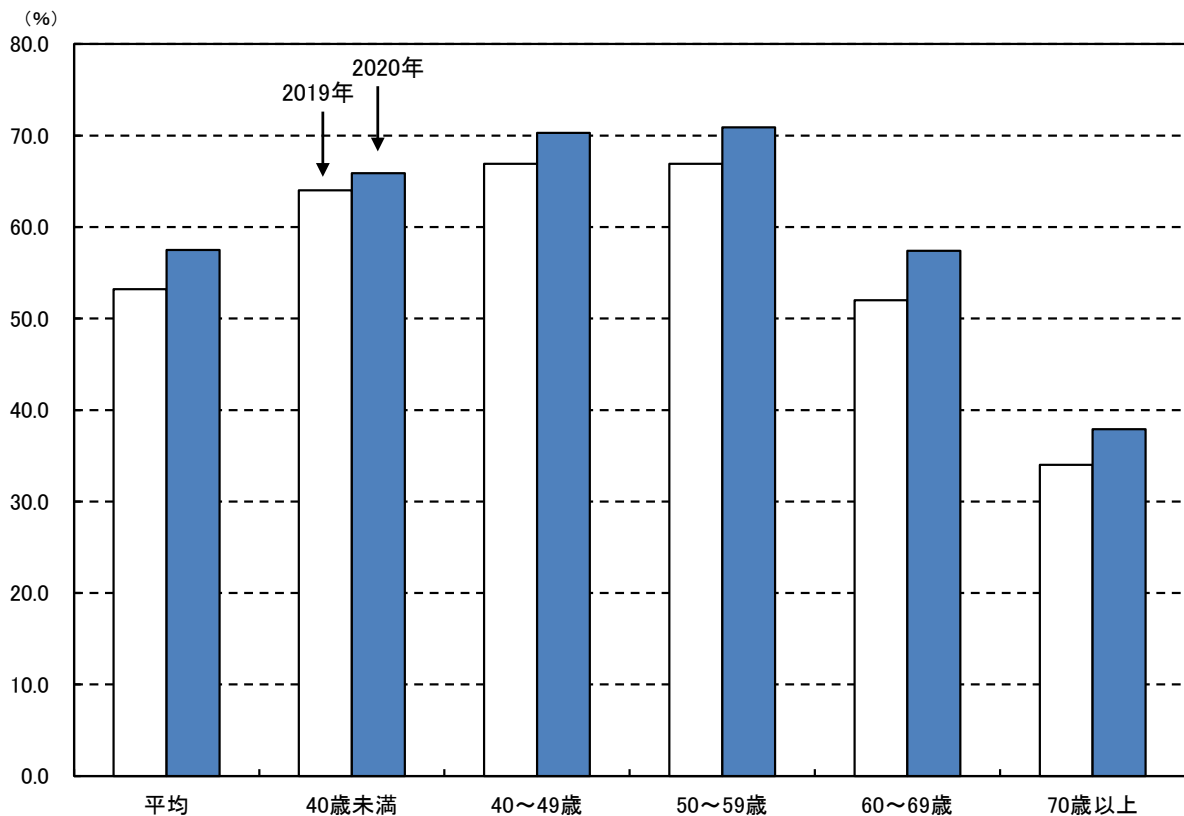
2020年の二人以上の世帯における電子マネー利用世帯の割合を世帯主の年齢階級別にみると、50～59歳が70.9%と最も高く、次いで40～49歳(70.3%)、40歳未満(65.9%)などとなった。

前年と比べてみると、60～69歳が5.4ポイントの上昇、次いで50～59歳が4.0ポイントの上昇となるなど、全ての年齢階級で上昇となった(表Ⅱ-2、図Ⅱ-2)。

表Ⅱ-2 世帯主の年齢階級別電子マネー利用世帯の割合(二人以上の世帯)

年次	平均	40歳未満	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
割合(%)						
2019年	53.2	64.0	66.9	66.9	52.0	34.0
2020年	57.5	65.9	70.3	70.9	57.4	37.9
対前年増減(ポイント)						
2020年	4.3	1.9	3.4	4.0	5.4	3.9

図Ⅱ-2 世帯主の年齢階級別電子マネー利用世帯の割合(二人以上の世帯)



### 3 電子マネー利用金額は2割以上の大幅増加

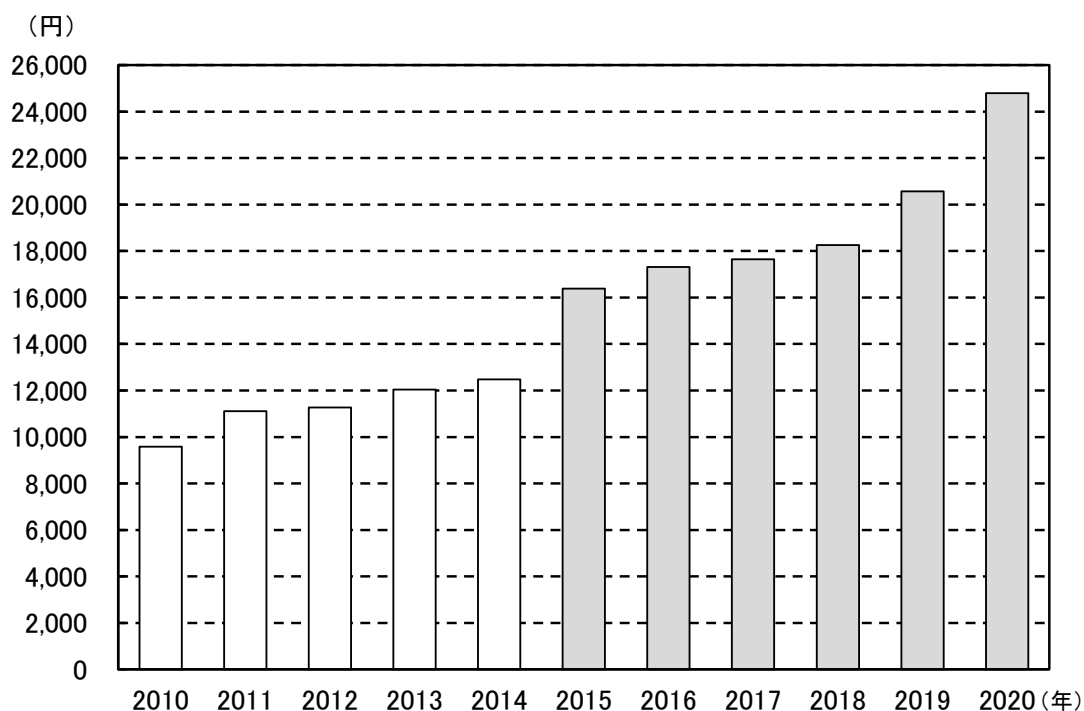
2020年の電子マネー利用世帯（二人以上の世帯）における電子マネーの利用金額は、1か月平均24,790円で、前年に比べ20.5%の増加となった。

また、電子マネーの平均利用金額に占める鉄道及びバスの利用金額の割合は12.5%と、前年に比べ9.3ポイントの低下となった。電子マネーを交通機関以外でも使用する機会が年々増えていることに加えて、2020年は新型コロナウイルス感染症による外出自粛の影響も受けたと考えられる（表Ⅱ-3、図Ⅱ-3）。

表Ⅱ-3 電子マネー利用世帯の1か月間の平均利用金額の推移（二人以上の世帯）

年次	平均利用金額(円)	鉄道及びバスの 利用金額(円)	平均利用金額に占める 鉄道及びバスの 利用金額割合(%)
2010年	9,588	-	-
2011	11,116	-	-
2012	11,269	-	-
2013	12,044	-	-
2014	12,480	-	-
2015	16,382	4,468	27.3
2016	17,318	4,553	26.3
2017	17,644	4,603	26.1
2018	18,256	4,746	26.0
2019	20,567	4,487	21.8
2020	24,790	3,098	12.5
2020年の対前年 名目増減率(%) 及び対前年増減 (ポイント)	20.5	-31.0	-9.3

図Ⅱ-3 電子マネー利用世帯の1か月間の平均利用金額の推移（二人以上の世帯）※3



※3 2015年1月に調査票を変更した。このため、電子マネー利用世帯における1か月間の平均利用金額については2014年12月以前の結果と時系列で比較する際は注意が必要である。

#### 4 電子マネー利用金額は、世帯主が70歳以上の世帯で最も増加率が高い

2020年の電子マネー利用世帯（二人以上の世帯）における電子マネーの利用金額を世帯主の年齢階級別にみると、60～69歳が1か月平均26,426円と最も多く、次いで50～59歳（25,792円）、40～49歳（24,213円）などとなり、全ての年齢階級で2万円を超えた。

前年と比べてみると、70歳以上が25.6%の増加、次いで40歳未満が22.7%の増加となるなど、全ての年齢階級で増加となった（表Ⅱ-4、図Ⅱ-4）。

表Ⅱ-4 世帯主の年齢階級別電子マネー利用世帯の平均利用金額（二人以上の世帯）

年次	平均	40歳未満	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
月平均額(円)						
2019年	20,567	17,313	19,823	21,400	23,045	19,084
2020年	24,790	21,242	24,213	25,792	26,426	23,976
対前年名目増減率(%)						
2020年	20.5	22.7	22.1	20.5	14.7	25.6

図Ⅱ-4 世帯主の年齢階級別電子マネー利用世帯の平均利用金額（二人以上の世帯）

